

Press Release

沖縄労働局発表

令和6年4月30日(火)

担当

沖縄労働局労働基準部 健康安全課
課長 梅澤 栄
地方労働衛生専門官 久場 健滋
地方労働衛生専門官 長嶺 進
電話:098 (868) 4402

職場での熱中症対策を徹底しましょう！

～4月は「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」準備月間です～

沖縄労働局（局長 柴田 栄二郎）は、令和6年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」のキャンペーン期間を前に、関係団体に対し熱中症対策の周知等の依頼をしました。

1 熱中症による労働災害の発生状況等

(1) 令和5年の発生状況（令和6年4月10日確定値）

死亡者は0人。休業4日以上の特徴者は、前年（11人）より2人多い13人だった。（別添1参照）

内訳をみると、業種では商業（商業には不動産業、レンタカー業を含む）が最多の4人となっており、全体の30.8%を占めた。（別添2、別添3（図1表）参照）

(2) 県内における過去10年間（平成26年から令和5年）の熱中症による休業4日以上の特徴災害の発生状況について

① 建設業が全体の28.7%を占めた。（別添3（図1グラフ）参照）

② 発生時期は6～8月の3か月間で全体の78.2%を占めた。（同（図2）参照）

③ 時間帯では15時台が16.8%、次いで9時台以前、11時台及び17時台がともに11.9%で多く発生した。（同（図3）参照）

2 沖縄労働局の取り組み

令和6年も4月を準備月間として、5月から9月までの期間で「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します。4月の準備期間中に「暑さ指

数（WBGT）※の把握の準備」などに取り組んでいただくため、沖縄労働局では、関係団体等を通じてキャンペーンの周知を呼びかけるとともに、各事業場における熱中症対策の徹底を指導する。

※ 暑さ指数（WBGT）とは

気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数。

<主な予防対策>（別添4参照）

- ① 暑さ指数（WBGT）の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること
- ② 作業を管理する者及び労働者に対してあらかじめ労働衛生教育を行うこと
- ③ 衛生管理者などを中心に事業場としての管理体制を整え、発症時・緊急時の措置を確認し、周知すること。

<添付資料>

- 別添1 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況の推移（平成26年～令和5年）
- 別添2 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生事例（令和5年、休業4日以上）
- 別添3 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況（平成26年以降、休業4日以上）
- 別添4 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（リーフレット）
- 別添5 関係団体あて文書『令和6年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について』

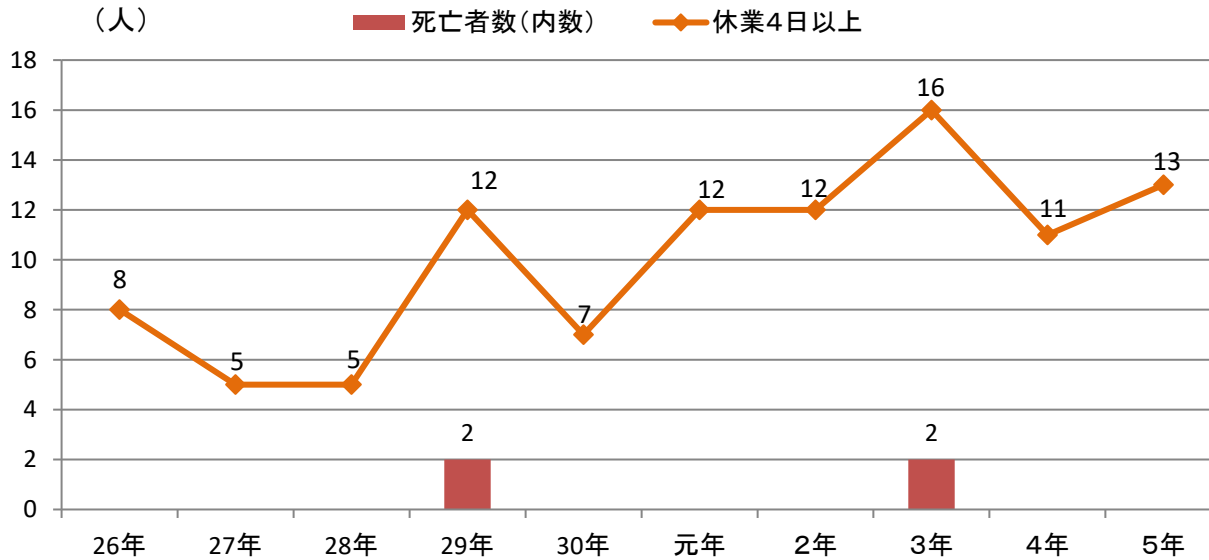
（参考：関連情報）

- ・厚生労働省「令和6年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_38059.html
- ・ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況の推移(平成26年～令和5年)

令和5年は令和6年4月10日時点確定値

※労働者死傷病報告により集計したもの。



沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生事例(令和5年、休業4日以上)

(令和6年4月10日時点確定値)

番号	所轄署	災害発生日	業種	年齢	性別	被災程度	災害発生状況
1	沖縄(中部)	令和5年3月下旬	商業	30代	男	22日	砂浜で、写真撮影の備品であるコンクリートブロックや造花を運んできたところ、作業開始してから1時間から1時間半後、手に力が入らなくなった。
2	那覇(南部)	令和5年6月上旬	建設業	30代	男	5日	ヤード内にて、台風養生の片づけをしていたところ、10時の休憩時に気分が悪くなり、そのまま倒れ、痙攣を引き起こした。
3	那覇(南部)	令和5年6月上旬	運輸業	30代	男	2ヶ月	倉庫内で、ピッキング終了後、ひと段落ついたとき、初出勤でかなり緊張しており、水分補給を行っていなかったため、気を失い、顔面から倒れた。
4	沖縄(中部)	令和5年6月上旬	商業	30代	男	5日	客先で、野外機器取付作業中(午前10時頃から業務を開始し、お昼休憩を挟んで13時より業務再開)その後14時半あたりからめまいを感じ気分が悪くなった。
5	沖縄(中部)	令和5年6月上旬	商業	50代	男	6ヶ月	気温30℃前後の真夏日、帽子等暑さ対策はしていなかったところ、粗大ゴミ回収時、直立状態からひとりでに後方に倒れこんだ。
6	宮古	令和5年7月上旬	商業	60代	男	9日	車3台洗車した後、体調不良になった。
7	那覇(南部)	令和5年7月下旬	ビルメンテナンス業	60代	男	6日	駐車場にて、駐車整備業務中に体調不良を訴えて、病院を受診した。
8	那覇(南部)	令和5年7月下旬	建設業	70代	男	10日	ヤード内で通常作業(仮設資材整備)中に気分が悪くなり、意識が朦朧とした状態だったので、救急要請。
9	那覇(南部)	令和5年8月上旬	建設業	40代	男	4日	ヤード敷地内、台風後片付け作業を2名で行っていた。15時頃からめまい、汗が止まらなくなったが、少し休憩すると回復したので定時まで勤務。後日、体調に違和感があり受診し入院した。
10	沖縄(中部)	令和5年8月中旬	その他の事業	40代	男	8日	イベントで使用するテントの設営を行った。作業中から頭痛があったが、その日は受診せず。翌日も同じ作業を行っていたが、熱中症と判断し、午後から受診した。
11	沖縄(中部)	令和5年8月中旬	水産業	30代	女	1週	水を抜いた池の中で石集めをしている時に、炎天下であったのに休憩や水分補給を怠ってしまい、目の前が真っ暗になってめまいや吐き気がして、次第に手足のしびれや痙攣が起こり、呼吸も速くなったため、救急車で運ばれた。
12	名護(北部)	令和5年8月下旬	建設業	40代	男	5日	ブロック積み途中に日差しが強く、木陰に入りながらこまめに休憩を取って作業していたが、体調不良を訴えた。
13	那覇(南部)	令和5年10月上旬	警備業	60代	男	1週	観光バスやタクシーの車両の交通誘導中に気分が悪くなり、交替した直後に嘔吐、左手の痙攣があり救急車で病院へ運ばれた。

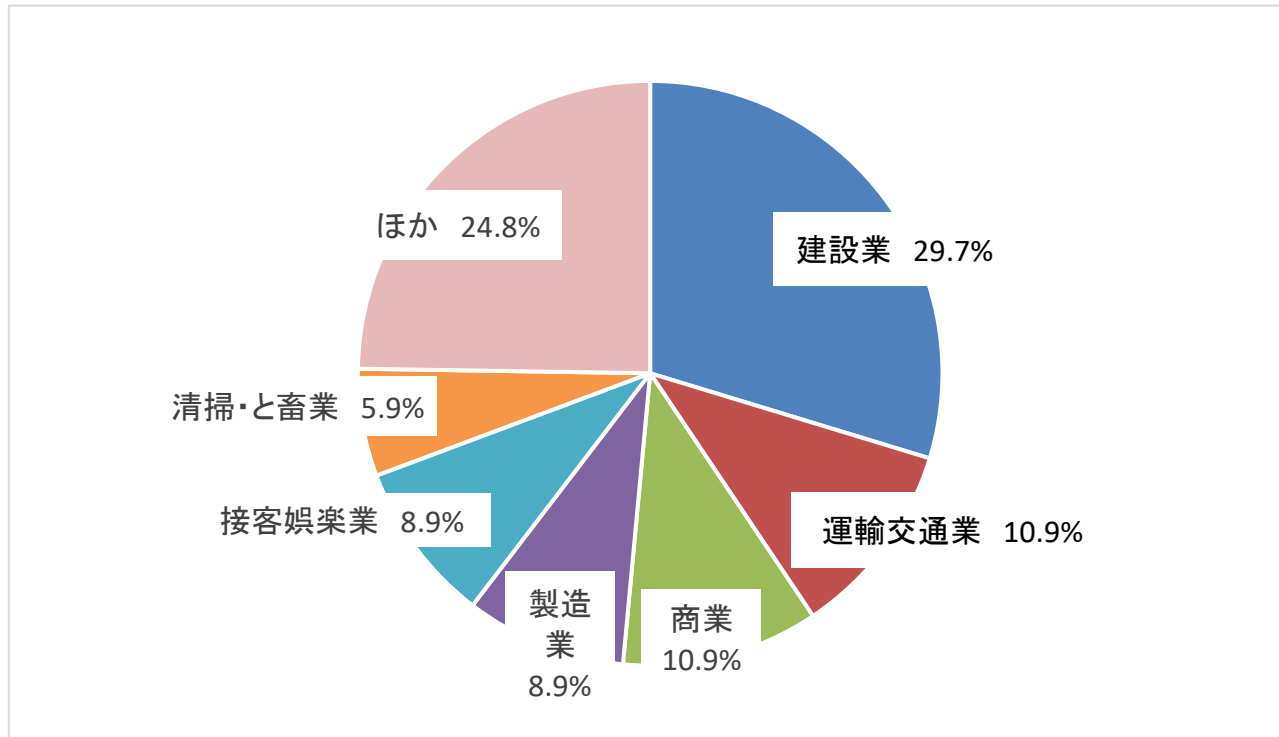
※ 労働者死傷病報告により作成したもの。

沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況(平成26年以降、休業4日以上)

令和6年は令和6年4月10日時点確定値

※図1～3の何れも労働者死傷病報告により集計したもの。

図1 業種別発生状況(平成26年～令和5年)



	建設業	運輸交通業	接客娯楽業	製造業	商業	清掃・と畜業	ほか	全体
計(人)	30 (3)	11	9	9	11	6	25 (1)	101
うち令和5年	4	1	0	0	4	1	3	13
令和5年割合	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	23.1%	100.0%

※「ほか」の業種は、貨物取扱業、農林業、畜産・水産業、教育・研究業、保健衛生業、その他の事業が含まれる。

※()内は死亡者数であり、その業種の内数である。「ほか」の内数は「その他の事業(警備業)」である。

※グラフ上のデータ割合および「令和5年割合」は小数点第2位を四捨五入している。

图2 月別発生状況(平成26年~令和5年)

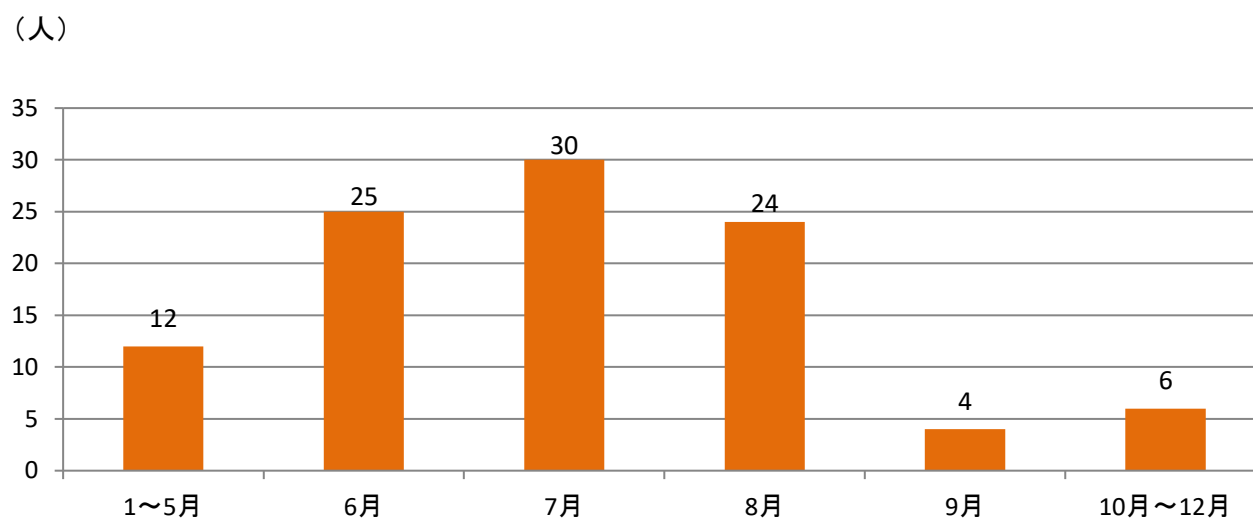
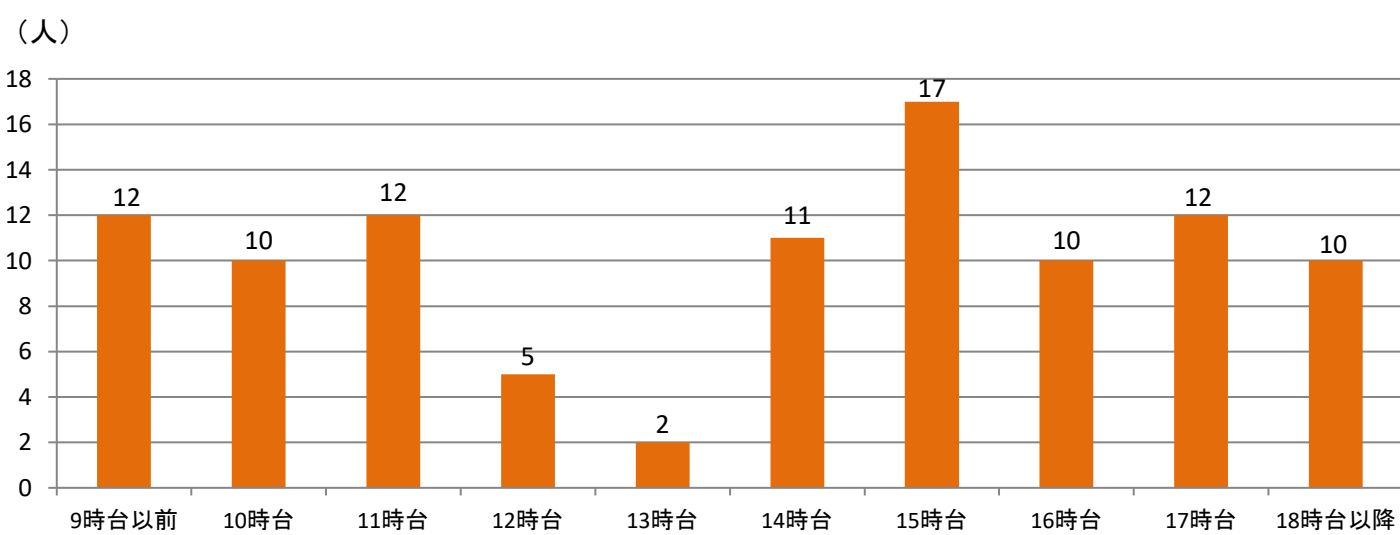


图3 時間帯別発生状況(平成26年~令和5年)



STOP！熱中症

クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約800人が4日以上仕事を休んでいます。



労働災害防止キャラクター

チューイカン吉



キャンペーン
実施要項

準備

キャンペーン期間

4月

5月

6月

7月

8月

9月

重点取組

準備期間（4月）にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう

<input type="checkbox"/>	労働衛生管理体制の確立	事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し熱中症予防の責任体制を確立
<input type="checkbox"/>	暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
<input type="checkbox"/>	作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定
<input type="checkbox"/>	設備対策の検討	暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討
<input type="checkbox"/>	休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討
<input type="checkbox"/>	服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や送水により身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討
<input type="checkbox"/>	緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知
<input type="checkbox"/>	教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）



キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP
1

暑さ指数の把握と評価

- JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効



環境省
熱中症予防情報
サイト

STEP
2

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

<input type="checkbox"/> 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
<input type="checkbox"/> 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
<input type="checkbox"/> 服装	準備期間に検討した服装を着用
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
<input type="checkbox"/> 暑熱順化への対応	熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整 ※新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取（水分等を携行させる等を考慮）
<input type="checkbox"/> プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
<input type="checkbox"/> 作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導
<input type="checkbox"/> 異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 ※ <u>全身を濡らして送風すること</u> などにより体温を低減 ※一人きりにしない

重点取組期間（7月）にすべきこと

- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- 体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請**

沖労発基 0418 第1号
令和6年4月18日

別記団体の長 殿

沖縄労働局長
(公印省略)

令和6年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

平素より労働行政の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、別添1のとおり実施いたしますので、貴団体におかれても、主唱者の実施事項に取り組んでいただきますようお願いいたします。

- 別添1 令和6年2月27日付け基安発 0227 第1号「令和6年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について」
- 別添2 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況の推移（平成26年～令和5年）
- 別添3 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生事例（平成5年、休業4日以上）
- 別添4 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況（平成26年以降、休業4日以上）
- 参考 ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

(担当)

沖縄労働局 労働基準部
健康安全課（労働衛生専門官）
電話098-868-4402

別記

一般社団法人沖縄県労働基準協会

建設業労働災害防止協会沖縄県支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄総支部

林業・木材製造業労働災害防止協会沖縄県支部

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会沖縄支部

一般社団法人沖縄県警備業協会

沖労発基 0418 第 1 号
令和 6 年 4 月 18 日

別記団体の長 殿

沖縄労働局長
(公印省略)

令和 6 年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

平素より労働行政の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、別添 1 のとおり実施いたしますので、貴団体におかれましても、キャンペーンの趣旨を踏まえ、会員事業場等に対し、その周知を図っていただきますとともに、各事業場において確実な取組が行われますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

- 別添 1 令和 6 年 2 月 27 日付け基安発 0227 第 1 号「令和 6 年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について」
- 別添 2 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況の推移（平成 26 年～令和 5 年）
- 別添 3 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生事例（平成 5 年、休業 4 日以上）
- 別添 4 沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況（平成 26 年以降、休業 4 日以上）
- 参考 ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

(担当)

沖縄労働局 労働基準部
健康安全課（労働衛生専門官）
電話 0 9 8 - 8 6 8 - 4 4 0 2

別記

一般社団法人沖縄県介護福祉士会
一般社団法人全国介護事業者連盟 沖縄県支部
公益財団法人介護労働安定センター 沖縄支部
全国健康保険協会 沖縄支部
一般社団法人沖縄県磁気探査協会
一般社団法人沖縄県中小建設業協会
一般社団法人沖縄県農林水産土木建設会
一般社団法人日本塗装工業会 沖縄県支部
一般社団法人沖縄県舗装業協会
沖縄県クレーン事業協同組合
沖縄県生コンクリート工業組合
沖縄県管工事業協同組合連合会
沖縄県建設事業協同組合
沖縄県電気工事業工業組合
協同組合沖縄県鉄構工業会
西日本圧接業協同組合 沖縄ブロック
一般社団法人日本クレーン協会 沖縄検査事務所
沖縄県解体工事業協会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会
沖縄基礎工業協同組合
沖縄県左官業組合連合会
沖縄県鳶土工業会
公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 沖縄県支部
一般社団法人沖縄県建設業協会
一般社団法人沖縄県電気管工事業協会
全建総連沖縄県建設ユニオン
一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会
一般社団法人沖縄県産業廃棄物協会
一般社団法人沖縄県歯科医師会
一般社団法人沖縄県生産性本部
一般社団法人沖縄県倉庫協会
一般社団法人沖縄県バス協会
一般社団法人沖縄県木材協会
一般社団法人沖縄港運協会

一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会
一般社団法人日本クレーン協会 沖縄県支部
一般社団法人日本建設機械レンタル協会 沖縄支部
一般社団法人日本コミュニティーガス協会 沖縄支部
一般社団法人日本道路建設業協会 沖縄支部
一般社団法人日本ボイラ協会 沖縄検査事務所
一般社団法人日本ボイラ協会 沖縄支部
一般社団法人日本ホテル協会 沖縄支部
沖縄県映画興行協会
沖縄県健康産業協議会
沖縄県港湾協会
沖縄県社会福祉協議会
沖縄県食品産業協議会
公益社団法人沖縄県看護協会
公益社団法人沖縄県工業連合会
公益社団法人全日本病院協会 沖縄県支部
日本分蜜糖工業会
一般社団法人沖縄県銀行協会
一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会
沖縄経済同友会
沖縄県印刷工業組合
沖縄県美容業生活衛生同業組合
沖縄県保育士・保育所総合支援センター
沖縄県緑化種苗協同組合
沖縄県労働組合総連合
沖縄市管工事協同組合
沖縄税理士会
公益財団法人沖縄県産業振興公社
公益財団法人名護市観光協会
中部電気工事業協同組合
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部 ポリテクセンター
沖縄
独立行政法人中小企業基盤整備機構 沖縄事務所
日本労働組合総連合会沖縄県連合会
北部電気工事業協同組合
一般社団法人沖縄県経営者協会

一般社団法人沖縄県自動車整備振興会
一般社団法人沖縄県食品衛生協会 本部
沖縄県飲食業生活衛生同業組合
沖縄県社会保険労務士会
沖縄県商工会議所連合会
沖縄県商工会連合会
沖縄県中小企業家同友会
沖縄県中小企業団体中央会
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
公益社団法人沖縄県トラック協会
独立行政法人労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センター
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会
那覇市管工事協同組合
一般社団法人沖縄県医師会